

開催記録

名 称	第 11 回 振興計画町民検討会議
開催日時	平成 22 年 4 月 11 日（日）午前 9 時 30 分～午後 4 時 30 分
開催場所	会津美里町役場高田庁舎 第 6 会議室
出席者	<p>【委 員】</p> <p>(①班) 荒井弘之、渡辺秀造、片山紀彦、野中憲子、薄謙一、根本謙一、鈴木丈夫</p> <p>(②班) 馬場清志、石川栄子、片山玲子、塩田光顕、石橋史敏、根本昌志、佐藤一枝</p> <p>【事務局】</p> <p>(総合政策課) 佐藤課長、鈴木係長、遠藤香、鈴木幸信、渡部朋宏</p>
議 題	「町民が考える重点施策とは」～基本計画で掲げる目標設定に向けて
資料の名称	○次第
記録方法	<input type="checkbox"/> 会議全文 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>1. 開会</p> <p>2. ワークショップ</p> <p>【①班】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本来の重点領域は C2（町が主体的に取り組む領域）であるが、C4（町民が主体的に取り組む領域）から重点施策を選んだ。 ・「町民に信頼される行政運営」「健全な財政運営の推進」は当然のことと判断し、重点施策には入れなかった。 ・結果として、町が主体的に取り組んでいく施策は少なく、町民が主体的に取り組んでいく施策が多くなった。 ・町民の中には NPO や事業所の活動も含む。 ・行政サービスの担い手は町民側に移ってきている。 ・コミュニティ活動はその担い手づくりに位置づけられる。 	

- ・産業振興の分野は重要と判断した。結果として、雇用の促進にも関連してくる。
- ・農業、林業の振興は、自然環境の保全との関連が大きい。
- ・今後、行政ができないことは、町民がやらざるを得ない。

(1 班の重点施策)

「農業の振興」「林業の振興」「商工業・地場産業の振興」「コミュニティ活動の推進」「町民参加の推進」

【②班】

- ・雇用の促進は今後の大きな課題である。
- ・産業の分野（農業・商工業等）について一括してとらえ、第 6 次産業の創出として「農業の振興」を重点施策とした。
- ・「林業の振興」や「自然環境の保全」も、今後きちんと考えていかなければならない施策である。
- ・健全な財政運営の推進が基本となる。
- ・町民主体の取組みとして、「互いに支え合う社会福祉の推進（福祉全般を関連させたもの）」「町民参加の推進」を重点施策とした。
- ・観光・商業・工業について、重点施策とすべきとの意見もあった。

(2 班の重点施策)

「互いに支え合う社会福祉の推進」「農業の振興」「雇用の促進」「健全な財政運営の推進」
「町民参加の推進」

3. その他

次回の会議日程

日時：4月28日（水曜日）午後7時～

場所：役場高田庁舎

内容：基本構想素案（予定）

※町民検討会議内に運営会議を設置し、今後の進め方の検討を行う。運営委員会は都合がつく人は誰でも参加でき、週1回程度開催し、その内容は全て町民検討会議に報告することとする。第1回の運営委員会は4月21日（水曜日）午後7時から行う。

4. 閉会